

JPHMA  
トピック

## 由井 寅子

遣伝子組み換えなど不自然な食物が増えている昨今、「日本と日本人が興業の重要性を説く強いメッセージを伝える由井会長、ホメオパシー相談によって、ワケチンなどが原因による発達障害児がコミュニケーション能力を取り戻す様子や、大きな問題となっている子宮頸がんワクチンの副作用とと思われる症状の改善例も発表。また、いわゆるケース等、心の問題が改善していく様子を紹介されました。そして、「自己否定感」「罪悪感」に苦しんでいる多くの日本人が癒されるためにも、一人一人が自分の中にあるインナーチャイロを癒し、愛し愛される本来の自分に戻り、一人の人間として日本人として誇りを持ち、愛をもって生きることが、心からの願いとして伝えられました。



由井寅子 先生  
日本ホメオパシー医学協会会長 / 農薬生産法人 日本農薬自然農薬代表・農民

## JPHMA認定 ホメオパスによる治癒症例発表

カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシーの前身、ロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシーを卒業され、全国でご活躍されているホメオパスによる治癒症例の発表が行われました。



新城 栄一さん  
JPHMA認定ホメオパス  
No.0452

### 体内磁気異常と食物アレルギーが改善

クライアントは、食品に含まれている農薬や食品添加物に対してアレルギー反応が出るため、食物がほとんど食べられず、体重が減少してしましました。臓器の弱さや使用していた入れ歯の磁気の問題など、症状の原因を分析し、レメディーを選択し改善へ導きました。多くの方は、病気の原因になるとは知らずに医薬品や汚染された食物を摂取している場合があります。ホメオパスは、クライアントの日常に潜む問題やリスクを見極め、症状の改善へと導くサポートをすることができ、改善の発表でした。

他にも「自閉症、知的障害、ADHD」が改善（豊池明子さん）、「難治性疾患である掌蹠腫瘍症が1年で改善」（工藤聖子さん）、「小児の脳腫瘍の治療においてホメオパシーでサポートしたケース」（酒井由紀子さん）、「攻撃行動と痙攣発作がホメオパシーによって改善した犬のケース」（森山知加子さん）、「慢性リウマチが改善したケース」（松尾敬子さん）が発表されました。



写真左）JPHMA コングレスのため来日したインド政府ホメオパシー中央研究評議会 R・K・マンチャダ長官とキュー国立ファンレイ研究所グスタボ・ブラチョ博士

Satoru Utsuni

## 内海 聡

私達は誰一人洗脳されていない人はいません。この前提に気づけられない限りは、洗脳の呪縛から逃れられないことはありません。「優生学（優秀なものが劣等民族を支配する）」といった発想のもとに「医学」にとどまらず、「科学」「統計学」「WHOなど」「世界組織」も、何から何までコントロールされているのです。このシステムから逃れようとしても、幾重にも張り巡らされた罫があり、なかなか抜けられません。洗脳され支配されている事実を知らなければ何事も始まりません。一方でホメオパシーは真の医学として叩かれる理由のある本物の医学であるということなのです。人類の本当の医学の歴史や、世界全体の構造は本当はどうなっているのかなどもしっかりと勉強して、危機管理を行いながらホメオパシー普及を進めていく必要があると思います。



内海 聡 先生  
内科医 TokyoD.D クリニック 院長  
NPO 法人 薬害研究センター 代表